

第73回「村長とのふれあいトーク」当日のやりとりコメント

【1】転入（居）者の班（常会）への入会及びごみ集積所について

班（常会）の隣接区域に家を建てた方が区域外のため、班（常会）に入れず、ごみ集積所を使用できない状況である。新しい家が増え、班（常会）ができるまでの間、条件付きで一時的に村有地等を貸してもらうことはできないか。

⇒【村長コメント】

対応策については、担当課と検討する。

【2】「歩いていける場所に集える場所」の運動について

集会所の設置については、検討委員会における審議を終えた後は、住民側としては活動内容や運営方法などの実施計画の検討を行っていくことになり、役場側は予算を確保する準備を行う流れになると考えている。しかし、担当課に検討委員会の際の進め方等の疑義や役場に対し提出した要望書の回答を求めているがはっきりした回答がもらえない。

⇒【村長コメント】

検討委員会については、終了している。その後にいただいている御意見等については、個人の意見として受けているので、地域住民の意見としてまとめていただけないため、全ての御意見に対し回答する状況にないことを御理解いただきたい。

【3】ごみ集積所の問題について

家を購入し、班（常会）に入会しようとしたところ、入会できる班（常会）がなく、ごみ集積所が使用できない状況であることから、区画整理を実施する段階でごみ集積所の検討も行っていただきたい。

⇒【村長コメント】

転入してきた住民の方をどのように地域で受け入れていくかということについては、深刻に受け止めなければならないと思っている。ごみ集積所の対応策については、担当課を通じ確認させていただき、後日連絡したい。

【4】－1 STEM教育について

東海村ではSTEM教育についてどのような取り組みを行っているのか。また、STEM教育に関するイベント等について、何かできることはないか。

⇒【村長コメント】

東海村でもSTEM教育に関して検討は始まっている。ただ、STEM教育を導入するにあたって、それを教えるための先生の教育が必要である。村でも何か企画ができないか検討したい。

【4】－2 保育所のペーパーレス化について

私立保育園では先生と保護者間の連絡帳等をメールでやり取りするなど、ペーパーレス化を進めている所もある。公立保育所においても進めてはどうか。

⇒【村長コメント】

本村でもペーパーレス化を進めている。保護者はスマートフォンを持っている方が多いと思うので、ペーパーレス化を進めることはできると思う。ペーパーレス化をするのが難しいサービスもあるが、若い世代に対してのサービスに関しては、ペーパーレスに切り替えていきたいと考えている。

